

沼田町化石館だより

2022年11月24日131号
この化石館だよりのカラー版は、化石館のホームページと、沼田町教育委員会のブログからご覧いただけます。

町民交流フェスタに参加しました

11月13日（日）に生涯学習センターゆめっくるで実施された町民交流フェスタにて、化石館がブースを出展しました。イベントでは、おなじみの「ミニ発掘体験」に加えて、普段化石体験館で展示しているヌマタネズミイルカの新復元骨格や産状模型、現生イルカの骨レプリカなどを展示し、ブース内はさながら「ミニ化石体験館」でした。イベント限定の展示も登場し、いつもよりも近い距離で、よりくわしくヌマタネズミイルカについて解説しました。94名のイベント総来場者のうち、71名の方々が化石館のブースに足を運んでくださり、多くの町民の方々に町の化石を知ってもらえたと思います。



▲ブースでの標本展示の様子
▼夢中でミニ発掘を行う参加者の子どもたち（上）
限定展示、ネズミイルカの頭骨にみられる特徴を説明した（下）

沼田産化石の新知見

沼田町の浅野地区から発掘された化石種の水生シダ *Salvinia pseudoformosa* に関する新たな知見が論文として発表されました。この論文では、既に研究されていた水生シダの化石標本が再検討され、この植物が生息していた年代が、これまで考えられていた新生代新第三紀の中新世ではなく、さらに古い古第三紀の始新世の地層から産出する化石であることが示されました。

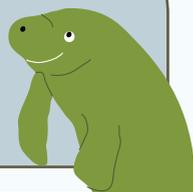
化石館が所蔵する始新世の植物化石標本でも未だ研究されていない標本がいくつもあり、今後研究が進むことで、この時代の沼田町の環境が高解像に明らかになっていくが楽しみです。

論文情報：Nishino, M., Ito, Y. and Yamada, T. (2022) Revision of *Salvinia pseudoformosa* type specimen ages. *Paleontological Research*, 26, vol. 4, pp.359-368.

総来館者数、5730名

化石体験館が11月3日（木・祝）に令和4年度の営業を終了しました。今年の総入館者数は5,730名で、**化石体験館開館以来3番目に多い記録**となりました（最多年：2019年7,901名、2番：2018年6,460名）。今年度は例年と比べて団体の受入れが減少した一方で、一般来館者の方々に多く来館いただきました。ありがとうございました！入館者数推移をはじめとした詳細な情報は令和4年度の年報に掲載します。

予告コーナー：休館期間に入った化石体験館ですが、来年度の開館に向けて早くも一部展示変えを行っています。大好評の「触れるコーナー」の化石が増えるだけでなく、より多くの標本が展示される予定です。来年もお楽しみに。



沼田町化石館だより 2022年11月号 第131号
発行 / 沼田町化石館 編集 / 長野あかね
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目
電話 / FAX 0164-35-2132 / 0164-35-1210
メールアドレス kyoiku@town.numata.lg.jp (教育委員会)
ホームページ <http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>



(体験館 HP)



(公式 Facebook)

化石館便りは毎月第4木曜日発行。次回は12月21日です。